

テーマ

「食と農の活動を通して地域の絆を深めよう」

目標

心と体を育てる食育の大切さを伝える

今年度の取組紹介

- ◎ 地域の田畑を利用した栽培活動
 - ・ 土壌、畑、野菜の管理
 - ・ 夏野菜、さつまいも、紫いも、冬野菜の植え付け支援
 - ・ 収穫祭
 - ・ 田植え体験活動（しろかき、苗とり、田植え）
- ◎ 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2015
 - ・ 収穫を地域とともに味わう（おにぎりと豚汁）
 - ・ 模擬店（鉄火味噌、みたらし団子、わたがし、野菜等）
 - ・ 幼小中の子供達達の学習発表
- ◎ 環境美化作業クリーングリーン大作戦（夏冬2回）
 - ・ 花の苗植え付け
 - ・ 校内草刈り
 - ・ 地域内ゴミ拾い



フェスタのマジックショー



田植え体験活動の支援

今年度のまとめ

- ◎ ふれあいフェスタの活動を通して学校・園と地域が連携でき、自ら挨拶してくれる子どもが増えてきています。
- ◎ 栽培活動等を通して地域の方と子どもたちとの触れ合う機会が多くなりました。
- ◎ 協議会の諸活動やフェスタの案内を学校園のホームページへ掲載したり、チラシを作成するなど、広報活動が充実してきました。

来年度に向けて

- ◎ 食と農の活動を通して学校・園を支援します。
- ◎ PTAとの連携を深め学校・家庭・地域が三位一体の活動となるようにします。
- ◎ 地域の協力体制を強化します。
- ◎ 地域教育協議会の活動内容を多くの方に知っていただけるように広報活動をさらに充実させます。

テーマ

食と農の活動を通して、地域との絆を深めよう

目標

豊かな心を育み、地域に貢献できる人材の育成に努める

今年度の取組紹介

① かまどベンチの製作

「かまどベンチ」は、普段はベンチとして使用し、災害時には座板をはずせば、炊き出し用のかまどとして使用できるものです。

今年はこのベンチを幼、小、中すべてに設置することになり、多くの地域の方々のご協力をいただき、本校の生徒と職員とともにかまどベンチ2基を製作しました。このかまどを使って生徒会主催でリーダー研修を行った際、地域の方と一緒にカレーの炊出しをしました。



② 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2015

11月16日、奈良競輪場をお借りして「食と農ふれあいフェスタ」を開催しました。会場では、みたらし団子や焼きそばなどの模擬店を出店し、ホールでは平城幼稚園、平城小学校、西大寺北小学校6年、平城中学校が歌や演奏などの学習発表を行いました。そのなかで、中学生は豚汁の炊出しや模擬店の手伝いなどで地域の方々と交流を深めました。今年の参加者は2700人でした。



今年度のまとめ

- ◎ コーディネーターを中心に地域内の各種団体が連携できました。
- ◎ 「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2015」は参加者が2700人でした。生徒達は地域の方や幼稚園児、小学生との交流を深めることができました。
- ◎ 耕地、栽培、収穫、調理という過程を通して生徒達に食べ物の大切さ、自然や人を愛する豊かな感性を育むことができました。また、責任感や規範意識を養うなどの取組の成果が見られました。
- ◎ 地域、家庭、学校が連携した諸活動を通じて、地域に対する愛着を持たせることができました。

来年度に向けて

- ◎ 来年度も今年度の「平城“食と農”ふれあいフェスタ」などの取組を継続していきたいです。
- ◎ コーディネーターの負担が軽減できるよう地域全体の協力体制を確立します。
- ◎ フェスタの案内を学校のホームページに掲載するなど、昨年よりも幅広く広報活動を行いました。より多くの地域の方に参加していただくために、より一層の広報活動を行いたいです。
- ◎ PTAとの連携を強化します。

テーマ

「食と農の活動を通して地域との絆を深めよう」

目標

地域・家庭・学校が、栽培・生産・命を育む取組を中心に、協力し学んでいく。

今年度の取組紹介

◆米作り体験

5年生が、学校の南に隣接した田圃を地域の方からお借りして田植え体験を行いました。今年で6年目になります。今年から県が進める「子供たちのこめ支援事業」としても取り組み、田植えや稲刈りには、地域の方々や県・農協の方々が多数応援に駆け付けてくださいました。収穫したお米は、食糧不足に苦しむマリ共和国に支援米として送られることとなりました。また、体育館で収穫祭を行い、地域の方を招いて、おむすびを一緒に味わいました。

**◆平城“食と農”ふれあいフェスタ2015**

今年で5回目を迎える「ふれあいフェスタ」を11月16日、奈良競輪場において地域の方々約2500名の参加者を得て、盛大に行うことができました。中学校や地域のバザー、炊き出し、大道芸人によるパフォーマンス、保護者の人形劇、そして、学習発表・学習展示と充実した時間となりました。地域・家庭・学校が三位一体となり、地域の絆をより深めることができました。子どもたちも幼・小・中の交流を深めることができました。



今年度のまとめ

地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また、顔を合わす機会も増え、自然に挨拶を交わし話すことも増え、コミュニケーション力の育成にもつながっています。

家庭科学習の支援、低学年の生活科への支援、クラブ活動の支援、環境整備への支援など、様々な面で地域の方々のお世話になり、教育活動を進める上でもなくてはならない存在でした。

毎週水曜日には、クラスに入り込んで、読み聞かせを行ってくださったことで、児童の読書への関心も高まり、国語科のアンケートにも「読書が好きだ。」と答える児童が9割に達しています。朝読書の浸透で落ち着いた学校生活を送ることができるようになってきています。

来年度に向けて

各学年の発達段階を考えた体験学習を整理し、児童の成長により効果的な栽培体験学習を年度初めにしっかりと計画し、地域の協力を得て実行していきたいです。教職員と地域の方々とのつながりをより深めるためにも、顔合わせや意見交換の場を設定し、見える関係づくりを図っていきたいです。フェスタや清掃活動などを通して、小中一貫教育の立場から子どもや教師の交流を深めていきたいです。

テーマ

食と農の活動を通して、地域との絆を深めよう

目標

地域の方との栽培活動を行うことで、収穫の喜びや食への関心を高める。
地域・学校との様々な活動を通し、地域に親しみを感じ、大切に思う気持ちを育む。

今年度の取組紹介

○ かまどベンチづくり

地域の方に指導していただきながら、教師も一緒にセメントを練ったり、レンガを積んだりしてかまどベンチをつくりました。預かり保育「おひさま組」の園児たちも、興味津々でつくる様子を見ながら応援しました。出来上がったかまどベンチは、災害時の炊き出し用のかまどですが、日頃は園児たちや保護者の憩いのベンチになっています。



○ 栽培と収穫祭（かまどベンチ火入れ式）

昨年に引き続き地域の方に教えてもらいながら、サツマイモ植えと収穫・田植えや稲刈りを行いました。11月には収穫祭とかまどベンチの火入れ式を行いました。青空のもと、地域の方々と一緒に、収穫を喜びながらさつま汁とおにぎりを食べました。



○ 平城“食と農”ふれあいフェスタ2015

平城“食と農”ふれあいフェスタ2015に親子で参加しました。発表では、食にちなんだ体操「野菜体操」「ヘルンダーナ.スクンダーナ」を披露しました。昼食のおにぎりや豚汁、模擬店などでは、たくさんの地域の方々や小・中学生と関わり、親子で地域を知り、地域の一員であるという気持ちを深め合う機会になりました。



今年度のまとめ

- かまどベンチづくりや平城“食と農”ふれあいフェスタ2015の準備では、地域の方と職員と一緒に作業をすることで、地域と職員との関係が強くなったと共に、その様子を目にした園児や保護者にも気持ちが伝わり、一体感を感じることができました。
- 地域の方々の協力を得て、どの活動も充実した取組となりました。感動体験を積み重ねられる機会や場を園児に与えることができました。

来年度に向けて

様々な取組を通して、園児や保護者に地域の方々への親しみや感謝の気持ちが育ってきています。地域の方々のご指導ご協力を受けながら、地域力を活かした活動を来年度も継続し、より一層地域の方々とのつながり・絆を大切しながら取り組んでいきたいと考えています。